

2019年度科学研究費採択一覧

代 表 者	課 題 名
飯 泉 恭 一	運動がアレルギー疾患を抑制する機序の解明
伊 藤 真 紀	パラリンピアンに対するキャリア支援に関する研究—社会認知的進路理論を用いて—
牛 尾 直 行	インドにおける無償義務教育法の施行とその社会的効果に関する教育制度学的分析
大 野 早 苗	使用語彙から見た日中の学生の母語による意見文と中国人留学生の日本語意見文の比較
荻 原 朋 子	小学校体育授業におけるネット型ゲーム教材の発達段階による系統性モデルの提案
柿 木 亮	ビタミンD不足はサルコペニア進行の増悪因子なのか？
川 田 裕 次 郎	fMRIを用いたアスリートのための効果的な感情調整方法の解明
北 田 友 治	競技種目特性に応じた呼吸筋トレーニングの明示：効果最大化計画
城 所 哲 宏	小学校学級におけるスタンディングデスクの導入が児童の血中脂質項目に及ぼす影響
工 藤 康 宏	我が国の固形臓器移植者の競技スポーツ実施の実態について
窪 田 敦 之	野球における最適な『肩を作る』方法の科学的検証
久保原 禅	細胞性粘菌由来の生物活性物質をシードとした創薬～新規抗がん剤と抗菌薬の開発～
熊 谷 仁	スポーツ傷害における遺伝的背景の解明—性ホルモン関連遺伝子群に着目した検討—
黒 須 充	ドイツにおける移民の社会統合の促進とスポーツクラブの役割
鯉 川 な つ え	女性アスリートにおけるLEPの副次的効果の解明
洪 永 豊	閉経後の骨格筋における水分代謝とサルコペニア：運動の予防効果の分子メカニズム
後 藤 佐 多 良	筋線維組成を規定する遺伝子多型は生活習慣病発症を予測するバイオマーカーとなるか
坂 本 彰 宏	呼吸終末二酸化炭素分圧動態に着目したハイポベンチレーショントレーニングの開発
桜 庭 景 植	疲労骨折の予防を目的としたトレーニングの開発—下肢筋力に着目して—
佐々木 啓	肺パスツレラの細菌分類の再編と病原因子に基づく検出法の開発
沢 田 秀 司	運動が老化に及ぼす生体メカニズムに関する探索的研究
鈴木 良 雄	フェニルアラニン脱炭酸反応におけるPDXDC1の役割の解明
須 藤 路 子	英語音声習得の分析と発音訓練の効果測定—伝わる英語の音声指導プログラムの開発—
染 谷 由 希	青年期の体力と糖尿病発症リスクに関する疫学研究
武 田 剛	クロール泳の短距離パフォーマンスを改善させる高速度状態持続トレーニングの開発
張 碩 文	筋肥大効果を最大限に引き出す時計遺伝子制御メカニズムの解明
長 登 健	インクルーシブ体育を実践できる教員養成モデルカリキュラムの開発
中 丸 信 吾	知的障害児・者における自然体験プログラムの開発
中 村 恭 子	精神科リハビリテーションにおける体力・運動能力回復のための運動プログラムの検討
棗 寿 喜	エピジェネティクスで解明する運動の大腸がん抑制メカニズム
野 川 春 夫	スポーツ種目別・練習形態別の衝撃度実験によるスポーツフロアの性能劣化指標の構築
野 口 亜 弥	スポーツによるジェンダー規範変革の可能性の検証—東南アジア地域を事例に—
廣 瀬 伸 義	柔道選手における皮膚真菌症の罹患状況と感染拡大の背景因子の究明
廣 津 信 義	深層学習を用いた球技選手の動きの評価指標の探索：コンピュータ vs 指導者を目指して
福 典 之	スポーツ傷害（靭帯損傷・筋損傷・疲労骨折）を規定する機能的遺伝子多型の解明
松 本 綾 子	適度な自発運動は、炎症性大腸炎を予防できるか？
松 山 毅	「共助」の思想史的研究—公民の協働関係は上下か対等か？
水 野 基 樹	人工知能（AI）技術を応用した看護組織の組織活性化に関する経営学的研究
宮 本 直 和	肉離れが好発する筋・部位・個人の特徴解明に基づく効果的予防策構築のための基盤創出
柳 谷 登 志 雄	子どものランニング中のアキレス腱弾性特性は、大人のランニングとは違うのか？
山 田 泰 行	震災に強い地域社会の実現に向けた科学コミュニケーションの実践的研究
吉 原 利 典	エピジェネティクスで解く骨格筋萎縮抑制機構
和 気 秀 文	ストレス性高血圧の発症と運動による予防・改善効果に関わる扁桃体STAT3の役割
渡 邊 貴 裕	体育系大学の教職課程に位置付けた障害者スポーツ指導者養成プログラムの開発
渡 正	障害者スポーツ文化のライフヒストリー的研究—パラリンピック東京大会のレガシー